

WEBROOT®

an **opentext™** company

Webroot ビジネス「はじめに」ガイド (MSP 用)

Copyright

Copyright 2019 Webroot. All rights reserved.

MSP 管理コンソール「はじめに」ガイド

この文書に記載されている情報は予告なく変更されることがあります。この文書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されています。このソフトウェアの使用または複製は、これらの契約の条件に従って行うものとします。複写や記録を含む、電子的または機械的ないかなる形態や手段によっても、書面による Webroot の許可なく、購買者の個人的な使用以外の目的で、本書のいかなる部分についても複製、検索システムへの保存、または転送を行うことはできません。

目次

システム要件	1
Webroot ビジネス「はじめに」ガイド (MSP 用)	2
対象	2
ステップ 1: 体験版への登録または製品の購入	3
体験版への登録:	3
ビジネス製品の購入:	3
ステップ 2: Webroot アカウントの作成	4
アカウントの作成とアクティブ化	5
2 段階認証 (2FA) の設定	6
システム要件	6
管理コンソールの初回の設定	11
コンソール構成の設定	11
スポットライト ツアー	12
ステップ 3: Webroot Business Endpoint Protection のインストール	15
初めてのサイトの作成	16
ステップ 1: 詳細	16
ステップ 2: 権限	17
ステップ 3: Endpoint Protection	18
ステップ 4: DNS Protection	19
ステップ 5: (オプション): セキュリティ意識向上トレーニング	20
エンドポイントへのエージェントの配備	21
Endpoint Protection の使用の開始	23
索引	25

システム要件

アカウントと管理コンソールの設定では、最新 Web ブラウザのほとんどがサポートされており、Webroot Business Endpoint Protection 製品では、最新 Windows および Apple コンピュータのほとんどが保護対象になります。Windows サーバーや、さまざまな VM の混在も保護対象になります。不明な点がある場合は、詳細なリストをご覧ください。

システム要件のリストは、Endpoint Protection 製品 ページの下部にあります。

<https://www.webroot.com/us/en/business/smb/endpoint-protection#heading-requirements>

注意: これらのリンクは米国の英語サイトのものです。国と言語のオプションは、Web サイトの右上で国旗をクリックし、国を選択することで変更できます。

「[Webroot ビジネス「はじめに」ガイド \(MSP 用\)](#)」に進みます。

Webroot ビジネス「はじめに」ガイド (MSP 用)

対象

この「はじめに」ガイドは、主に、顧客のセキュリティを管理するマネージド サービスプロバイダー (MSP) を対象としています。このガイドは、さまざまな場所にオフィスがある大規模な企業にも適しています。

このガイドでは、クライアントを表す複数の "サイト" を使用します。このガイドでは、複数サイト用の管理コンソールである Webroot Business Endpoint Protection の設定と使用について手順を説明します。

サイトとは

この製品で "サイト" を使用すると、サービスプロバイダーが保護対象の会社の製品を管理できます。会社のアカウントに加えて、サイトでは、部署や、会社の地域、オフィスの場所などを表すこともできます。サイトを使用すると、多数のエンドポイントを管理し、顧客ごとに要約できます。

3 ステップの設定

1. 1 つ目のステップは、Webroot のビジネス製品を購入するか、体験版に登録することです。このステップは、このガイドを受け取る前に済んでいるはずですが。
2. 2 つ目のステップは、Webroot アカウントの作成とアクティブ化、2 要素認証の設定、Webroot ビジネス管理コンソールの初回設定です。
3. 3 つ目のステップは、エージェントをエンドポイントに配備するか、ターゲット ユーザーにセキュリティトレーニングを提供して、Webroot Business Endpoint Protection をインストールすることです。

[「ステップ 1: 体験版への登録または製品の購入」](#)に進みます。

ステップ 1: 体験版への登録または製品の購入

体験版へのご登録または Webroot のビジネス製品のご登録がお済みであれば、このステップの操作は必要ありません。

すでに体験版に登録するか製品を購入し、製品をインストールする必要がある場合は、「[ステップ 2: Webroot アカウントの作成](#)」に進みます。

それ以外の場合:

体験版への登録:

Webroot のビジネス用 Web サイト (<https://www.webroot.com/us/en/business>) にアクセスします。メイン ナビゲーションメニューの項目 [ビジネス] をクリックし、[無料体験版] をクリックします。どこから始めればよいかわからない場合は、[Endpoint Protection] を選択します。

体験版のページには、営業担当者の電話番号も記載されています。ご不明な点がある場合にご利用ください。

ビジネス製品の購入:

Webroot のビジネス用 Web サイト (<https://www.webroot.com/us/en/business>) にアクセスします。製品に関する詳細情報を確認して、オンラインカートに製品を追加します。カートには、オンラインで購入する方法や、販売チャネルを介して多数の定期購入契約を購入する方法について、手順が詳しく記載されています。

注意: これらのリンクは米国の英語サイトのもので、国と言語のオプションは、Web サイトの右上で国旗をクリックし、国を選択することで変更できます。

「[ステップ 2: Webroot アカウントの作成](#)」に進みます。

ステップ 2: Webroot アカウントの作成

このステップでは、以下について説明します。

- [Webroot アカウントの作成とアクティブ化](#)
 - [2段階認証 \(2FA\) の設定](#)
 - [ビジネス管理コンソールの初回の設定](#)
-

アカウントの作成とアクティブ化

まず、Webroot アカウントを作成します。Webroot アカウントは、Webroot のビジネス製品および個人のお客様向け製品に使用します。このアカウントは、Webroot 製品を管理するためのビジネス ID または個人 ID です。ここでは、ビジネス管理コンソールの使用を開始するためのアカウントを設定します。

ビジネス管理コンソールとは?

Webroot ビジネス管理コンソールとは、Webroot Business Endpoint Protection など、Webroot のビジネス製品を管理するために使用するオンラインポータルです。

アカウントを作成するには

1. 管理コンソールを設定するには、Webroot から送られてきた電子メールを開いて読み、記載されている手順に従います。この電子メールは通常、「ようこそ」という電子メールから 5 ~ 10 分後に送られてきます。
2. 電子メール内の登録用リンクをクリックします。
3. 受信した電子メールから仮パスワードをコピーして、[登録確認] ペインの [仮パスワード] フィールドに貼り付けます。
4. [新しいパスワードを作成] フィールドに新しいパスワードを入力し、確認のため再度入力します。
5. [個人用セキュリティコード] フィールドに、ログインに使用するセキュリティコードを入力します。ランダムに指定された位置の 2 桁を入力するよう求められるため、覚えやすいコードを選択します。
6. [セキュリティの質問] ドロップダウンメニューから、セキュリティの質問を 1 つ選択し、適切なボックスに回答を入力します。
7. [勤務先電話番号] フィールドに、最も連絡を受けやすい、勤務先の電話番号を入力します。
8. [同意して登録する] チェックボックスをオンにします。
9. [確認] ボタンをクリックします。

「[2 要素認証の設定](#)」に進みます。

2 段階認証 (2FA) の設定

アカウントがアクティブになったため、2 要素認証を設定できます。2 段階認証 (2FA) では、承認されていないユーザーによってアカウントに許可なくアクセスされることのないよう、保護レイヤーを追加することでサイバー復元力を高めます。

2 段階認証の設定は、オプションです。2FA を使用しない場合は、「[管理コンソールの初回の設定](#)」に進みます。

システム要件

Android または iOS のモバイル デバイスまたはタブレットでは、認証用アプリを使用する必要があります。

2 段階認証 (2FA) を設定するには

1. まず、[Webroot 管理コンソール](#)にアクセスし、アカウントの資格情報を使用してログインします。
2. 2 要素認証の設定 ページが開きます。管理コンソールへのログインが初めての場合は、[2FA を設定する] をクリックしてプロセスを開始することも、[今はスキップする] をクリックしてコンソールを開くこともできます。



管理コンソールにログイン済みであり、2FA を設定するプロセスのスキップを選択した場合は、こちらをクリックして 2FA の有効化に関する手順をご覧ください。

2FA セットアップ プロセスは、管理コンソールの [管理者] タブから開始することもできます。このとき、管理者リ

ストにある自分の名前をクリックすると、右側のパネルに自分の情報が表示されます。下方向にスクロールして、**[有効化]** をクリックします。

Admin User 3 (admin3@domain.com)

詳細 サイト権限

名
Admin

姓
User 3

電話番号

タイムゾーン
米国、コロラド、コロラドスプリングス、デンバー

アカウントのタイプ
GSM スーパー管理者

パスワード
変更

2FA
有効化

セキュリティコード
変更

セキュリティの質問
変更

保存

- 次に、**[2FA を設定する]** 画面が表示され、セキュリティの質問を 2 つ選んで回答を入力するよう求められます。操作が完了したら、**[続行]** をクリックします。
- スマートフォンまたはカメラ付きタブレットに、Google Play ストアまたは Apple App Store から認証用アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

モバイル認証用アプリには、Google 認証用アプリ、Microsoft 認証用アプリ、LastPass 認証用アプリ、Authy 2 段階認証などがあります。

- 認証用アプリをダウンロードしてインストールしたら、アプリを開き、画面の指示に従って、管理コンソールに表示される QR コードをスキャンします。QR コードをスキャンできない場合は、**[QR コードをスキャンできない場合]** をクリックして、表示されたコードをデバイスの認証アプリに入力します。コードでは大文字と小文字が区別されるため、表示されたとおりに大文字と小文字を入力してください。

ステップ 2
あなたのカメラ付きのスマートフォンまたはタブレットに認証用アプリをダウンロードする。ウェブルートは Google Play ストアまたは Apple アプリストアにある以下の無料アプリの一つを使用することを推奨しています。

Google 認証用アプリ	Microsoft 認証用アプリ
	
LastPass 認証用アプリ	2 段階認証 (2FA)
	

ステップ 3
アプリを開いて、以下の QR コードをスキャンしてください。

実例

QR コードをスキャンできない場合

QR コードをスキャンできない場合は、あなたのデバイス上の認証用アプリに以下の秘密を手動で入力してください。新しい秘密の質問の答えは「時間ベース」で 6 文字の長さに設定しなければなりません。

QHMMAMMQRG
ZG6Y3F

ステップ 4
あなたの認証アプリから以下の欄に認証コードを入力してください。

認証コードを確認する

さらにサポートが必要ですか? QRコードと認証アプリを理解するためのガイドについては、[ここをクリックしてください](#)

キャンセル

6. 認証アプリから取得した認証コードをステップ 4 のボックスに入力し、[認証コードを確認する] をクリックします。コードの確認が行われ、"認証が成功しました" というメッセージが画面に表示されます。[設定を完了する] をクリックして、2 要素認証の設定を完了します。


WEBROOT®

2FA を設定する


ステップ 2

あなたのカメラ付きのスマートフォンまたはタブレットに認証用アプリをダウンロードする。ウェブルートは Google Play ストアまたは Apple アプリストアにある以下の無料アプリの一つを使用することを推奨しています。


Google 認証用アプリ




LastPass 認証用アプリ



Microsoft 認証用アプリ




2 段階認証 (2FA)



ステップ 3

アプリを開けて、以下の QR コードをスキャンしてください。



実例

QR コードをスキャンできない場合

QR コードをスキャンできない場合は、あなたのデバイス上の認証用アプリに以下の秘密を手動で入力してください。新しい秘密の質問の答えは「時間ベース」で 6 文字の長さに設定しなければなりません。

**PS2XWE4XAQPYD5P2Z6S5F6JWVG
7F7YUZ**

ステップ 4

あなたの認証アプリから以下の欄に認証コードを入力してください。

253944

認証が成功しました。

認証コードを確認する

さらにサポートが必要ですか? QRコードと認証アプリを理解するためのガイドについては、[ここをクリックしてください](#)

キャンセル

設定を完了する

個人のお客様向けリリースノート
法人向けリリースノート
ウェブルート コミュニティ

注意: コードは 30 秒で有効期限が切れるため、コードの入力時に **"認証に失敗しました"** というメッセージが表示された場合は、認証アプリから新しいコードを取得して入力し、**[認証コードを確認する]** をクリックする必要があります。

- 2FA が有効になったため、"おめでとうございます!" の画面が表示されます。[コンソールに進む] をクリックし、認証用アプリを使用して管理コンソールにログインします。ログイン時に入力する認証用コードは認証用アプリから提供されます。このコードがセキュリティコードに代わって使用されます。

WEBROOT®

おめでとうございます! あなたはウェブルート 2FA の設定を完了しました。

次にコンソールにログインする際にスマートフォンまたはタブレットをお持ちください。ログインの度に認証用アプリを使用する必要があります。前回のログインの際にセキュリティコードを使用した場合は、そのステップの代わりに 2 段階認証が適用されるでしょう。

ウェブルートをお選びいただきありがとうございました。

[コンソールに進む](#)

[個人のお客様向けリリースノート](#)

[ウェブサイト利用規約](#)

[法人向けリリースノート](#)

[プライバシー ポリシー](#)

[ウェブルートコミュニティ](#)

[使用許諾契約書](#)

© 2019 Webroot Inc.

注意: セキュリティコードはアカウントに保存され、2FA が無効になった場合に使用されます。

8. アカウントで 2FA が有効になったことを知らせる電子メールが Webroot から届きます。

「[管理コンソールの初回の設定](#)」に進みます。

管理コンソールの初回の設定

コンソールに初めてサインインする際には、コンソール構成の選択という重要な決定を行う必要があります。

コンソール構成の設定

[マネージド サービス プロバイダー] オプション

マネージド サービス プロバイダー (MSP) 構成を選択すると、管理コンソールが設定されます。ここでは、サイバーセキュリティの提供に対して料金を支払っている会社のサイトを管理できます。サイトは、管理対象の別々のエンティティを表し、顧客へのレポートや請求を行うために使用します。

顧客のセキュリティを管理する場合は、[マネージド サービス プロバイダー] を選択します。

サイトとは

この製品で "サイト" を使用すると、サービスプロバイダーが保護対象の会社の製品を管理できます。会社のアカウントに加えて、サイトでは、部署や、会社の地域、オフィスの場所などを表すこともできます。サイトを使用すると、多数のエンドポイントを管理し、顧客ごとに要約できます。

注意: マルチサイト構成で [マネージド サービス プロバイダー] を選択した場合、元に戻すことはできません。

自社のセキュリティのみを管理する場合は、**ビジネス オプション**を選択します。この操作により、管理コンソールが単一サイト構成に設定されます。この構成は、将来的にマルチサイト構成にアップグレードすることもできます。ビジネス オプションを選択した場合、ここからは、このガイドではなく、[「ビジネス管理コンソール」はじめにガイド](#)をお使いください。

コンソールをマルチサイトの MSP 構成に設定するには:

1. 管理コンソールにログインします。
2. 右側の [マネージド サービス プロバイダー] の下で、[選択] をクリックします。

3. マルチサイトを使用できるようにコンソールが設定されます。

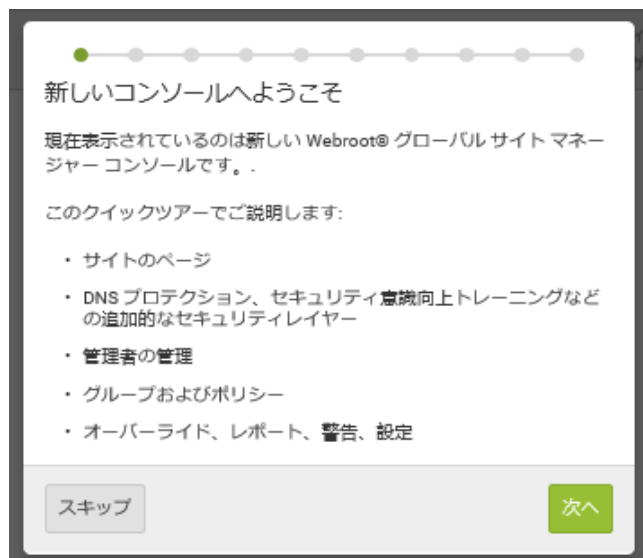


スポットライト ツアー


最初にアカウントを設定したときに、スポットライト ツアーが表示されます。ツアーには、以下の項目に関する簡単な説明が含まれます。

- サイト ページ
- DNS Protection やセキュリティ意識向上トレーニングなどの追加セキュリティレイヤー
- 管理者の管理
- グループとポリシー

• オーバーライド、レポート、警告、設定



後でスポットライト ツアーを再度表示するには:

グローバル ナビゲーション バーの右上にあるヘルプ メニュー アイコン  をクリックして、ドロップダウン メニューから [スポットライト ツアー] を選択します。



「[ステップ 3: Webroot Business Endpoint Protection のインストール](#)」に進みます。

ステップ 3: Webroot Business Endpoint Protection のインストール

Webroot Business Endpoint Protection は、多層型セキュリティを提供する Webroot の製品群の基盤となる製品です。Endpoint Protection を初めて配備するために、次の作業を行います。

- 初めてのサイトの作成
- エンドポイントへの Endpoint Protection エージェントの配備


エンドポイントとは?


エンドポイントとは、ネットワークに接続されたデバイスを指します。この製品のエンドポイントは、Windows または Mac OS X オペレーティングシステムを使用するデバイスです。

「[初めてのサイトの作成](#)」に進みます。

初めてのサイトの作成

初めてのサイトとして、社内サイトを作成し、ビジネスのエンドポイントにエージェントを配備します。管理対象の顧客に対して製品を実際に使用する前にこの作業を行うことは、製品の理解に役立ちます。

管理コンソールにログインし (まだの場合)、[**サイト**] タブ アイコン  をクリックします。

検索バーの右にあるプラス記号アイコン  をクリックして、サイトを追加します。検索バーおよびその他のツールは、サイトの表のすぐ上の右側にあります。

[**サイトの追加**] ステップ ウィザードが開きます。

ステップ 1: 詳細

次の例では、サイトが貴社を表します。

サイトの詳細の追加

1. [**サイト / 会社名**] フィールドに、会社の名前を入力します。
2. [**サイトの種類**] フィールドで、[**社内サイト**] を選択します。貴社のサービスを利用する外部顧客のサイトを作成する場合は、[**外部企業**] オプションを使用し、その顧客に合わせてその他のフィールドに情報を入力します。

WEBROOT SecureAnywhere

ダッシュボード **サイト** 管理者 グループ ポリシー オーバーライド 警告 レポート 設定 セキュリティ向上トレーニング

<戻る サイトの追加

1 2 3 4

詳細 権限 エンドポイントプロテクション DNS プロテクション

サイト/会社名

サイトの種類 外部企業 社内サイト

コメント

タグ タグを追加...

3. ここでは、コメントやタグを追加する必要はありません。
4. [次へ] をクリックします。

ステップ 2: 権限

グローバル管理者のリストが表示されます。

サイト権限の設定

1. ヘッダーにある [管理者] ボタンをクリックして、自分自身に管理者権限を付与します。グローバル管理者をコンソールに追加する場合は、必要に応じて選択的に権限を追加できます。

<戻る サイトの追加

1 2 3 4 5

詳細 権限 エンドポイントプロテクション DNS プロテクション セキュリティ向上トレーニング

管理者 管理者 表示のみ アクセス不可

2. [次へ] ボタンをクリックして、次のステップに進みます。

ステップ 3: Endpoint Protection

このステップでは、Endpoint Protection 製品の全体的なサイト設定を構成します。Endpoint Protection は、Webroot のビジネス製品の基盤となる製品です。

Endpoint Protection のサイト設定の構成

1. [キーコードの種類] で、製品を購入済みであるか体験版の使用中的であるかによって、[フル] または [30 日間体験版] のいずれかを選択します。
2. [サイトのシート数] フィールドに、保護対象となる新しいサイトの合計エンドポイント数を入力します。
3. [デフォルトのエンドポイント ポリシー] ドロップダウン リストでは、選択されている [推奨デフォルト設定] をそのままにします。Endpoint Protection には、あらかじめ設定されたポリシーがいくつか用意されています。製品の使用に伴い、独自のセキュリティ ポリシーを作成、管理、配備できます。
4. [グローバルポリシーの追加] チェックボックスをクリックして有効にします。これにより、グローバルポリシーの使用と、変更の継承およびサイトへのロールアウトを試すことができます。

戻る
サイトの追加

1
詳細

2
権限

3
エンドポイントプロテクション

4
DNS プロテクション

ⓘ DNS プロテクションやセキュリティ意識向上トレーニングを含む他のウェブルート製品およびサービスを体験または導入するには、エンドポイントプロテクションが必要となります。

キーコードの種類 ⓘ

フル 30 日間体験版

サイトのシート数 ⓘ

デフォルトのエンドポイントポリシー ⓘ

レポートの配信先リスト ⓘ

グローバルポリシーの追加 ⚠

グローバルオーバーライドの追加 ⚠

データフィルタ ⓘ

戻る
次へ

5. [グローバルオーバーライドの追加] チェックボックスをクリックして有効にします。これにより、デフォルトポリシーへのオーバーライドの使用と、サイトへの配備を試すことができます。
6. [データフィルタ] ドロップダウンメニューで、選択されている[GSM データフィルタ設定を継承]をそのままにします。GSM は "グローバル サイト マネージャー" であり、コンソールで行われたグローバルレベルの設定が、このサイトに配布されることを意味します。この選択により、ある時点でデータフィルタを変更してみてください、このサイトで結果を確認することができます。
7. これで完了です。[次へ] ボタンをクリックします。

ステップ 4: DNS Protection

Endpoint Protection の設定を完了し、使用を開始してから、Webroot Business DNS Protection の使用を試すこともできます。ただし、DNS Protection と Endpoint Protection の両方の使用を開始する場合を除き、こ

では DNS Protection を有効化しないでください。DNS Protection は、後で [設定] タブを使用して、いつでも簡単に有効化できます。

[終了] または [次へ] をクリックします。Webroot セキュリティ意識向上トレーニングを購入した場合または体験版をお持ちの場合は、あと 1 つステップがあります。それ以外の場合は、サイトが作成され、[サイト] タブのリストに表示されます。



ステップ 5: (オプション): セキュリティ意識向上トレーニング

Webroot セキュリティ意識向上トレーニングを購入した場合または体験版をお持ちの場合は、この製品を有効化するステップがあります。Endpoint Protection の設定を完了し、使用を開始してから、この製品の使用を試すことができます。ただし、この製品の使用を開始する場合を除き、ここでは有効化しないでください。この製品は、後で [設定] タブを使用して、いつでも簡単に有効化できます。

[終了] をクリックします。

[「エンドポイントへのエージェントの配備」](#)に進みます。

エンドポイントへのエージェントの配備

Webroot Business Endpoint Protection では、エージェントがインストールされている PC と Mac が保護されま



す。

この例では、Windows PC および Apple Mac にエージェントを手動でインストールします。

MSI を使用するかグループ ポリシー オブジェクト (GPO) を使用して、Webroot エージェントはサイレント バックグラウンド インストールで配備できます。ここで、スキャンの進行と結果をコンソールで確認してください。

Windows または Mac エージェントのダウンロード

コンソールにログインして、以下の操作を行います。

1. [サイト] タブをクリックします。
2. リスト内で、サイト名の右側にあるサイト カラムの [管理] ボタン  をクリックします。
3. サイト ビューでは、サイト名とサイトの状態の下に独自のタブ セットが表示されます。[ダウンロード] タブ  をクリックします。



4. [ダウンロード] タブには、Windows PC または Mac 用エージェントをローカルコンピュータにダウンロードするための [ダウンロード] リンクがあります。これらのダウンロードには、事前に用意されているサイトのキーコードが含まれています。Windows PC 用または Mac 用の [ダウンロード] リンクをクリックします。

5. エージェントの .exe または .dmg が Web ブラウザからコンピュータにダウンロードされます。
6. インストールを開始するには、Windows ファイルを実行するか、Mac ファイルを開きます。

Windows エージェントをターゲット エンドポイントにインストールする

- .exe ファイルを実行してエージェントをインストールします。


これで完了です。エージェントがインストールされると、コンソールにレポートされ、一元管理が可能な状態になります。

Mac エージェントを手動でターゲット エンドポイントにインストールする

1. Webroot エージェントの .dmg ファイルを Mac にダウンロードまたはコピーします。
2. wsamac.dmg ファイルをダブルクリックしてインストーラーを開きます。
3. [アプリケーション] フォルダを開き、Webroot アイコンをダブルクリックしてインストーラーを開きます。
4. 初期アクティブ化ウィンドウの言語選択ドロップダウンメニューで、エンド ユーザーのメイン言語を選択します。この設定を後で変更することはできません。[次へ] ボタンをクリックします。
5. 次のパネルで、[アクティブ化] ボタンをクリックします。
6. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

サイトのキーコードを確認する

エージェントのインストール中にサイトのキーコードを使用する必要がある場合は、以下の操作を行います。

- [サイト] タブをクリックし、サイト名の横にあるキーアイコン  をクリックします。
- キーコードは、サイトビューの [ダウンロード] タブにも表示されます。

「[Endpoint Protection の使用の開始](#)」に進みます。

Endpoint Protection の使用の開始

エンドポイント エージェントがコンソールにチェックインすると、[デバイス] カラムに表示されるデバイス数が増えます。脅威が検出された場合は、下の例に示されているように、[状態] が[要対応] に変わります。

The screenshot shows the Webroot SecureAnywhere console interface. At the top, there are navigation tabs: 'ダッシュボード', 'サイト', '管理', 'グループ', 'ポリシー', 'オーバーライド', '警告', 'レポート', '設定', and 'セキュリティ更新プログラム上トレーニング'. The 'サイト' tab is selected. Below the navigation, there is a search bar and a table of devices. The table has columns for '状態' (Status), 'サイト' (Site), 'デバイス' (Devices), 'サイト上の状態' (Status on site), and 'セキュリティ更新プログラム上トレーニング' (Security update training). The '状態' column shows various icons representing different device states, such as '一時停止' (Suspended), '保護' (Protected), and '要対応' (Needs attention). The 'デバイス' column shows the number of devices for each site. The 'サイト上の状態' column shows the status of the device on the site, with '要対応' (Needs attention) highlighted in red. The 'セキュリティ更新プログラム上トレーニング' column shows the status of the security update training, with '要対応' (Needs attention) highlighted in red.

状態	サイト	デバイス	サイト上の状態	セキュリティ更新プログラム上トレーニング
一時停止		220	要対応	要対応
保護		19	要対応	要対応
保護		23	要対応	要対応
保護		11	要対応	要対応
要対応		10	要対応	要対応
要対応		12	要対応	要対応

製品と Endpoint Protection の詳細については、以下を参照してください。

- [管理者ガイド](https://docs.webroot.com) (docs.webroot.com)
- [Business Endpoint Protection](#) (Webroot コミュニティ)
- Webroot [サポート ナレッジ ベース](https://answers.webroot.com) (answers.webroot.com)

索引

さ

サービス設定 3

漢字

設定、サービス 3

